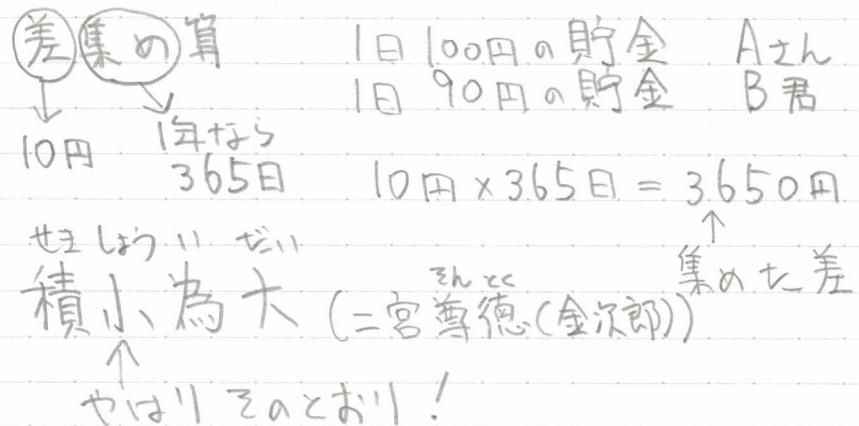


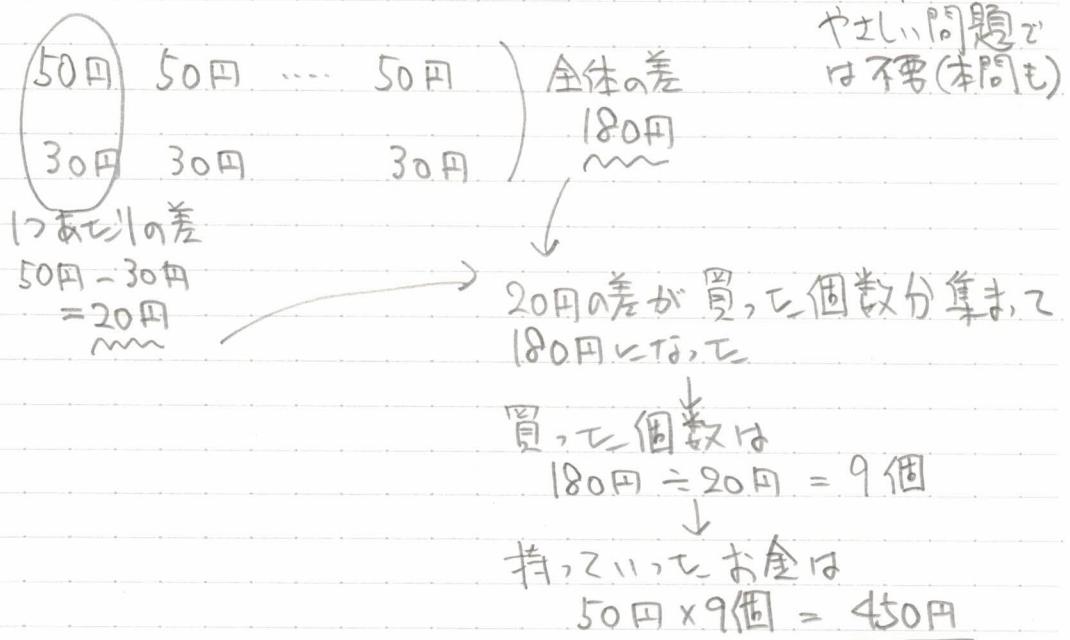
5年上
第9回

算数と才能は要りません。セス? 要りません。
社会と同じ。(かもおぼえることは社会おもてなし) 5/4 19
講義案 差集め算



必修 1 個50円のりんごを何個か買つてもうでちょうどお金を持っ
たが、りんごは買ひらず、1個30円のミカンと同じ個数
買つたら180円あまり。持つてあるお金は何円?

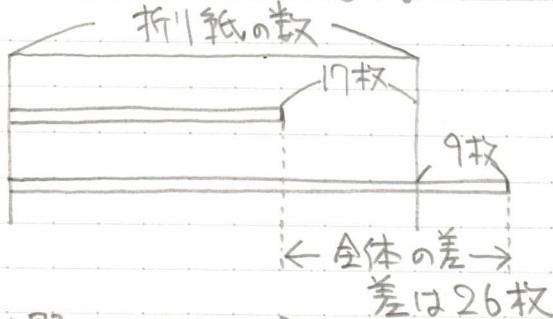
差集めの算のポイントは
「一つあたりの差」と「全体の差」(あこ
個数を333)



必修2 子ども会で折り紙を配る。^{くは} 1人へ5枚ずつなら17枚ある。
1人へ7枚ずつなら9枚不足する。折り紙は何枚?

「全体の差」とひと言間にかけちゃんこ出すのが
算数の苦手な人には大切だと思う。

図



長短を逆に
表せば12人が
高偏差値の人へ
中れもと多い
いる(コストは
いいじきとか)

あとは必修例題1と同じ流れ。

1人あたりの差 全体の差

$$7枚 - 5枚 = 2枚 \quad 26枚$$

$$26枚 \div 2枚 = 13(\text{人})$$

$$\text{仕上げ} \quad 5枚 \times 13\text{人} + \underbrace{17枚}_{\text{プラスだよ!}} = \underline{\underline{82枚}}$$

必修3 (1)えんぴつ。生徒1人へ3本ずつ配、そこ60本あり)、23へ2本ずつ配、2も4本ある。生徒は何人?

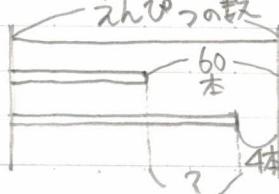
(2)カード。子ども1人へ8枚ずつ配るには25枚不足するので5枚ずつ配、7がまだ4枚足りない。子どもは何人。

この小問2つは上の3本線の図の形で全体の差を出すぐらいのお話。
2つともスベースで解く。

(1) 全体の差 $60\text{本} - 4\text{本} = 56\text{本}$

$$\downarrow \\ 1\text{人}\text{の差} \text{は} 2\text{本} \\ \downarrow$$

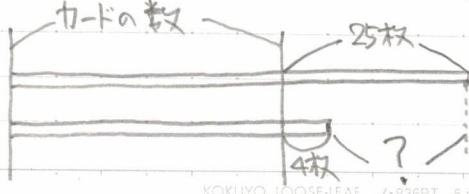
$$\text{人数は } 56\text{本} \div 2\text{本} = \underline{\underline{28\text{人}}}$$



(2) 全体の差 $25\text{枚} - 4\text{枚} = 21\text{枚}$

$$\downarrow \\ 1\text{人}\text{の差} 8\text{枚} - 5\text{枚} = 3\text{枚} \\ \downarrow$$

$$\text{人数は } 21\text{枚} \div 3\text{枚} = \underline{\underline{7\text{人}}}$$

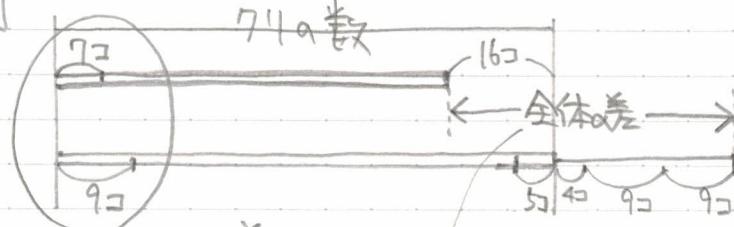


文修4 クリ。かじレ7個ずつなら16個ある。9個ずつなら、クリが5個しか入ってないかじが1個と何も入っていないかじが2個。
クリは全部で何個？

このあたりから式もないうが増えてくるのでと思うが、こう考えればよ。

「クリの数は？」から「かじの数は？」へ入力を変える。

図



かじ1つあたりの差
 $9コ - 7コ = 2コ$

全体の差は

$$(16コ + (9コ - 5コ) + 9コ + 9コ = 38コ)$$

コウイクモタダイガ
スクニテキルニシテ
ンハ什イナドモ
オオキカクナテナット
デキル。スクニワカ
ラナイ。デキナイトウ
+! +マケモ!

あては文修例題1と同じ流れ。

$$\begin{aligned} \text{38コの差は2コの差が集まっている} \\ 38コ \div 2コ = 19 \text{かじ} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{仕上げ} \quad \text{クリは } 7コ \times 19\text{かじ} + 16コ \\ = \underline{\underline{149\text{個}}} \end{aligned}$$

文修5 セモ。1個45円を何個か買つてもどちらのお金。(しかし1個35円だし、た。予定より2個多く買つてお金が50円あります。持つてないお金は?)

差集め算は個数と32なうとでます、問題→個数を32よ!

予定の個数を32とすると、50円ありますから多くなって35円2個分の70円で合計120円あります。これが「全体の差」

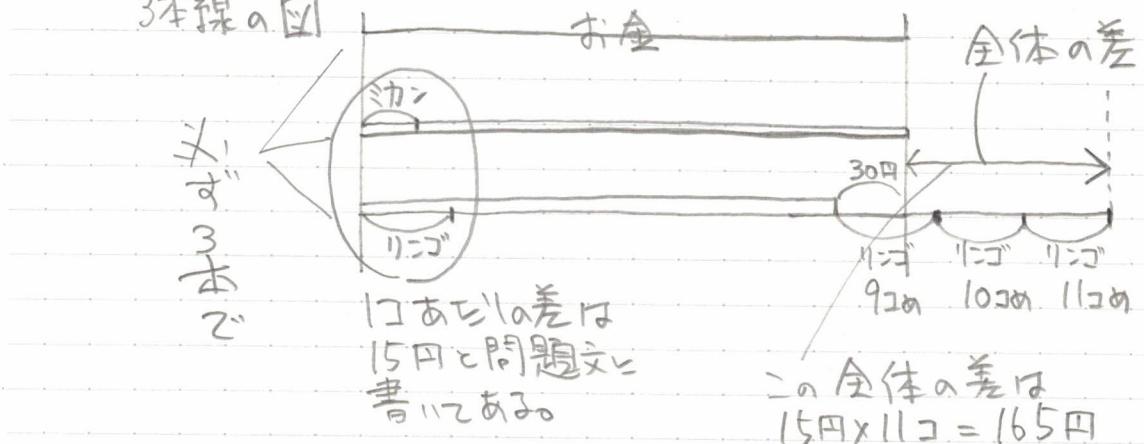
$$\text{「全体の差」} = \text{「1つあたりの差」} = \text{個数} - 120円 \div (45円 - 35円) = 12\text{個}$$

$$45円 \times 12\text{個} = \underline{\underline{540円}} \text{が持つてないお金。} \quad \text{各自図7かけミルコ!}$$

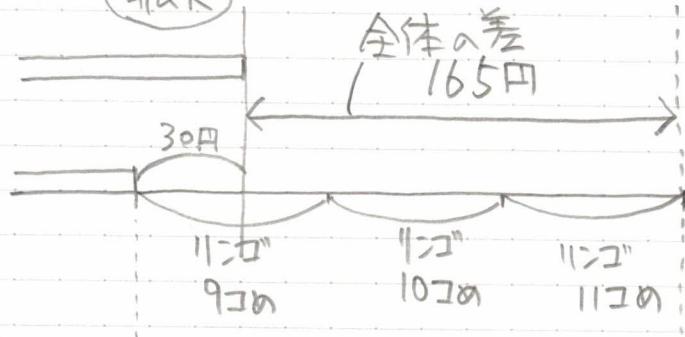
必修6 ミカンならちょうど11個買えるお金で、ミカンより1個15円高いリンゴを買うと8個買えて30円残る。この持っているお金は何円？

差集の算は同じ個数(日数など)でわってできるからで
してよ。 → リンゴもミカンと同じ11コ買ってすれば…
←(昔は授業でアデイタスの3本線と言っていた)

3本線の図



折木



お父さん、お母さんと
放課後で「おじいちゃんは
絶対に3才ではすまないませんが、
授業でわかるおじいちゃんはおもしろい。
おじいちゃんは講義をまだ書いて
いませんが、自分で書けてやって
ほしい。だから、中学生になれる
園ありますよ。11才から補助輪を
はぶつねえことね。

ココは
11コ 3コ 分で

$$165円 + 30円 = 195円$$

$$\downarrow \\ \text{リンゴ} 1コは \frac{195円}{3コ} = 65円$$

$$\downarrow \\ \text{ミカン} 1コは 65円 - 15円 = 50円$$

$$\downarrow \\ \text{お金は } 50円 \times 11個 = 550円$$

必修7 切手。50円のと80円のとを合計で20枚買う予定だといふが、買う枚数と取引がえた時の予定より180円高くなつた。50円切手は何枚買う予定だといふか。

「予定より高く」の部分を何か特別のテクニックが必要であるかのように教室の仲間に教えている生徒がいるが…

↓
予定より高くなつてのせいで予定より高い80円切手の方を多く買つては当然のことですね！

予定の20枚

50円 7つ

80円 13つ

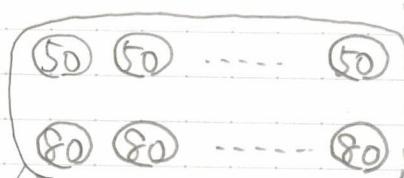
実際の20枚

50円 7つ

80円 13つ

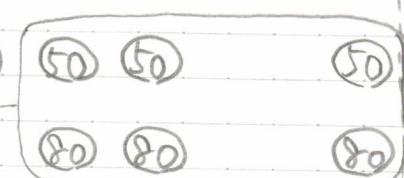


(予定)



差30円

(実際)



差30円

同じ

ここで差はない

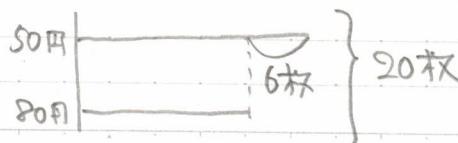
全体の差180円は
ここで3つ。

$$180 \text{ 円} \div 30 \text{ 円} = 6 \text{ 枚}$$

仕上げ

予定では50円切手と80円切手は
合計20枚で、50円の方があなれつかつて。

和差算を使う



$$\begin{aligned} & \text{50円切手は} \\ & (20 \text{ 枚} + 6 \text{ 枚}) \div 2 \\ & = 13 \text{ 枚} \end{aligned}$$

「和差算」と
すると行き詰つて
は復習不足です。
復習不足の人は
助けてください。